



【先週のMESSAGEより】

ヨセフの生涯 (1)

創世記37章

●ヤコブの第11子、ヨセフは愛する妻ラケルの忘れ形見でもあり、ヤコブの偏愛の対象となっていた。偏愛を受ける者の心も歪み、歪んだ物の見方をするようになる。ヨセフはいつも兄たちについて「告げ口」をする者であったことが語られている。さらに、兄たちや親までもが自分に向かって伏し拝むようになる、という夢を見た時に、それを平気で自慢げに兄たちに語るほど、人の気持ちを理解する力がなかったのがヨセフの現実であった。

●ヨセフは兄達のねたみを買ひ、殺されることは免れたものの、穴に投げ込まれ、遂にエジプト行きの隊商に奴隷として売られてしまう。ヨセフにとっては初めて体験する孤独と将来が全く見えない不安な状況に追い込まれる。人は苦難の中で神と初めて出会って行くもの・・・彼にとって自分の父祖達の神に初めて向き合っていく時となっていた。そして彼のこころと魂の訓練がここに開始された。



●彼の歩みを理解するのに役立つ御言葉を以下に挙げる。

- ◆詩篇17:8 私をひとみのように見守り、御翼の陰に私をかかまってください。
- ◆箴言20:24 人の歩みは主によって定められる。人間はどうして自分の道を理解できようか。
- ◆ローマ8:28 神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。
- ◆エレミヤ29:11 わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。- 主の御告げ - それはわざわざではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。

【今週の英語】

When trials come, don't wring your hands --- bend your knees

苦難が来たなら手を揉んでいないで、ひざをかかめよ。



【今週の暗唱聖句】 詩篇55章22節

あなたの重荷を主にゆだねよ。主は、あなたのことを心配してください。主は決して、正しい者がゆるがされるようにはなさない。

しばしば私たちは、自分の置かれた状況に苦しみ、何とか逃げ出したいと思う。そのような時、それが神から出たものと受け止めて積極的に神の訓練にあずかるようするのは至難の業である。しかし主のしもべが学ばなくてはならないのは、その重荷を主にゆだね、主の解決を待ち望むことである。一瞬一瞬、主のみことばに支えられながら、主の御旨を生きることを学ばなくてはならない。（「成長」123号p92）

【次期大統領決定！】

●アメリカは今オバマ氏の当選で沸き立っている。

CHANGE HOPE のスローガン掲げて全米を駆け抜けアフリカ系アメリカ人、若者たちの多くの選挙初参加者を巻き込み、さらに中西部の州でも着実な前進を果たして当選へとこぎ着けた。この選挙は肌の色のことではない、としきりに喧伝されて来たが、結果的には



「初の黒人大統領」「歴史的な選挙」と大々的に報道され、涙にむせぶ多くのアフリカ系アメリカ人たちの姿がテレビにも映し出されていた。白人でなくても、誰にでも大統領になる機会があるという「夢」が実現されたことには確かに大きな意味があり、日本人家族でも米国生まれの子供がいるならば、将来大統領になる可能性があることを思えば、素晴らしいインスピレーションではなからうか。

●選挙結果は選挙人数 364対163でオバマが大差をつけて勝利した。

ただし総得票数（Popular vote）の結果も今後のオバマ氏の歩みを決定する重要な要素になるので覚えておきたい。結果は 65,404,732票（53%）に対し 57,410,574票（46%）であった。過去二回の大統領選でもこのポピュラー・ボートはアメリカを真っ二つに分け、アメリカが大きな文化戦争の中にあることを物語ってきた。今回もメディアがどんなにオバマの圧倒的勝利を謳っていたとしても、五千七百万人は彼を支持しなかったわけであり、全国民の全幅の信任を受けたとはとうてい言えないのである。国のかじ取りは難しいに違いない。

●クリスチャンは特に信教・言論の自由、生命倫理、個人選択権と自己責任、飢餓問題等よく見張り、大統領が正しく国を導くことができるよう、オバマ氏を祈りによって支えて行くようでありたい。

すべての人のために、また王とすべての高い地位にある人たちのために願ひ祈り、とりなし、感謝がささげられるようにしなさい。I テモテ2章1節